

平成23年度 第2回全国レース委員会 議事メモ

JSAFLレース委員長 黒川 重男

開催日時:平成 24 年 3 月 3 日(土)~4 日(日)

開催場所:横浜市波止場会館大会議室(3 日)

パシフィコ横浜アネックスホール(4 日)

議 事 内 容

委員長挨拶(黒川委員長)

- ・ 東日本大震災で被災した長塚、広田両氏への義捐金への協力に対し感謝申し上げる。
- ・ 各委員の協力により、23 年度も活発な活動を行うことが出来、感謝申し上げます。
- ・ 来年のレースオフィサー更新講習会の開催に向けて、多くの課題も明らかになってきているので、着実に対応をお願いします。
- ・ 今回、各水域から推薦のあった若手レース委員にオブザーバーとして参加いただいているので、今後、委員会活動に協力をお願いします。

委員自己紹介(各委員)

- ・ 今回、初めての参加者が多いことから、参加者全員の自己紹介を行った。

議題1 平成 23 年度の活動報告及び平成 24 年度の活動計画(黒川委員長)

- ・ H23 活動報告、H24 活動計画、H24 予算案の説明があり、承認された。

議題2 レースオフィサー認定講習会・試験の実施報告(長塚副委員長)

- ・ 実施状況、収支状況(中間報告)が報告され、承認された。
- ・ 最終の収支報告は、事務処理完了後レース委員にメールで報告し、書類を添えて会計担当(中村)まで送付する。

議題3 公認審査の審査状況報告と申請・報告手続きの簡素化について(大原副委員長)

- ・ H23 の公認審査状況と報告書の提出状況の説明があり、承認された。
- ・ 共同主催、公認、後援申請及び実施報告等の手続きに関し、簡素化したうえで、申請様式等をパッケージとして、JSAFのHPに掲載する方向でJSAF事務局及び環境委員会と協議を進める。
- ・ JSAF運営規則の変更が伴うことになるので、副委員長が案を作成し、H24 第 1 回レース委員会で検討した後、理事会に諮り、H25 からの運用を目指す。

議題4 レース・マネジメント・セミナーの実施報告及び実施計画(岡田副委員長)

- ・ H23 からの修正点や開催計画について報告があり、承認された。

- ・ H24 については、レース・オフィサー更新講習会を優先して開催するが、開催希望が出された場合には対応する。
- ・ 更新講習会とセミナーの位置付け(棲み分け)を整理する必要がある。

議題5 外洋小委員会報告(羽柴副委員長)

- ・ 2月に宮城県で開催された外洋系委員会合同会議の報告がされた。
- ・ 大坪外洋安全委員長から、レース・オフィサー規程第2条(6)に規定されている専門講習会を関東で開催する報告がされた。
- ・ オープンレース問題について、艇登録及び最低1名の会員登録を参加資格とすることを全国の水域に向けてお願いする。

議題6 ISAFレース・マネジメント・セミナーの開催について(黒川委員長)

- ・ 開催時期は、12月8～10日を第1候補とし、東京都浅草で開催することが承認された。
- ・ 会場、ホテルとの交渉を高橋委員が行い、仮予約が出来る日程で決定し、受講料等の詳細を決めて、ISAFに制式申請を行う。
- ・ ローカル・コンサルタントの岡田副委員長と高橋委員(東京都連)を任命し、プロジェクトチームを編成し準備及び当日の対応に当たる。(メンバーについては、後日、岡田副委員長が指名)
- ・ JSAFレース委員も、出来る限り多くの参加をお願いする。

議題7 レース・オフィサー更新講習会の開催について(長塚副委員長)

- ・ 平成25年1～3月に、全国でレース・オフィサー更新講習会を開催することが承認された。
- ・ NRO更新講習会はレース委員会単独で直営で開催し、NRO更新講習とA級ジャッジ更新講習会を土・日開催すること、ARO及びCRO更新講習会はB級ジャッジ更新講習会と合同で開催し、運営は地方に委託し、講師は水域のNROが務める方針で、ルール委員会と調整を行う。

議題8 レース・オフィサー認定証の発行形態の検討について(長塚副委員長)

- ・ H24年1月の理事会における柴沼理事からの提案について報告があった。
- ・ 今後、認定証の発行は行わず、新規認定時には「認定証」、更新時には「受講終了証」を交付し、名簿をJSAFのWEBに公開する方針が承認された。
- ・ レース・オフィサー規程、レースオフィサー制度事務処理要領を受講料の改訂とあわせて改正し、年内に理事会に諮り承認を得る方針が承認された。

議題9 レース・オフィシャルズの認定料等の整合について(長塚副委員長)

- ・ 3委員会合同WGのレース・オフィシャルズ受講料の考え方(案)が説明され、大筋で承認されたが、認定料は独立採算を原則として設定されるべきであるので、NJAとNROに差額があることなども含め、さらに検討を進める必要がある。
- ・ 講師謝金5,000円とすることは、承認された。
- ・ 現在、オフィシャルズは委員会ごとに管理運営されており、一人のメンバーが何の資格を有しているかは各委員会では分からない状況であるが、本来はJSAFの財産であることに鑑み

ると、JSAF事務局で一括管理されることが本来の姿であること、さらに、各委員会のデータに万一事故があった場合のバックアップ体制などに大きな危険性がある(東北大震災により、レースオフィサー名簿等のデータが一度消失した事実がある。)ことから、このことに関するJSAFの考えを事務局に確認する。

- ・ レース・オフィサー規程、レースオフィサー制度事務処理要領を受講料の改訂とあわせて改正し、年内に理事会に諮り承認を得る方針が承認された。

議題 10 レース・オフィサー更新の要件について(岡田副委員長)

- ・ レースオフィサー規程第 8 条の更新の要件における「海上運営及び大会マネジメント」についての定義付け(運用)が必要であるとの問題提起がなされ、運用案をレースオフィサー小委員会で作成し、メールで各委員に照会し、出来るだけ早くHPに公開することが承認された。
- ・ NROについては、更新要件を厳格化する必要があるとの提案がなされ、上記と合わせて対応することが承認された。
- ・ NROの更新要件を満たさなかった場合と、1 年以内に更新手続きがとられなかった場合には、現在のレース・オフィサー規程では失効することになるが、AROの更新要件が満たされるのであればAROとして認定するか否かなど、レース・オフィサー規程の改訂案を作成し、年内に理事会に諮り承認を受ける方針が確認された。

議題 11 会場における雷雨安全対策指針(案)について(大原副委員長)

- ・ 昨年 12 月の合同委員会における議題となり、レース委員会で案を作成することになっていた対策指針(案)の説明があり、承認された。
- ・ 今回の(案)でルール委員会にも意見を聞き、問題なければHPに公開する。

議題 12 ぎふ国体及び東京国体リハーサル大会へのレース委員の派遣(案)について(黒川委員長)

- ・ 両大会のレース委員(案)が示されたが、女性レース委員、外洋系レース委員、若手レース委員の登用などの意見が出され、再検討することとなった。

議題 13 その他

- ・ 国体における支援艇の支援内容に関するアンケート結果が報告され、支援内容は従来どおりとすることが承認され、国体委員会に対しアンケート結果のHPへの公開を要望した。(川上委員)
- ・ ユース世代制式艇種制定の基本方針がJSAF理事会で承認されたことが報告された。(黒川委員長)
- ・ H23 でHPに公開した「レース運営に関するよくある質問と回答」(質問 10～13)の報告があった。(黒川委員長)
- ・ HPの活性化に関し、第 1 回レース委員会以降の経過が報告され、レース委員会でHP更新用ユーザーIDを取得し、今後、レース委員会でHPを更新していくことが承認された。(小柳委員)
- ・ 12 月の第 1 回レース委員会において承認された東日本大震災の被災者のレースオフィサー資格認定証の再交付手数料の減免に関するレースオフィサー制度事務処理要領の改正が理事会で承認されたことが報告された。(黒川委員長)

- ・ ISAFQ & Aがルール委員会により翻訳され、近々HP に公開されると思われるが、今回はレース運営に関する内容が多く含まれているので、注目するようにとの紹介があった。(黒川委員長)
- ・ 24年度第1回のレース委員会開催地について、福岡または愛媛が候補となったが、結論持ち越しとなった。

閉会挨拶(黒川委員長)

- ・ 現在のレース委員の任期は24年度までとなっているので、あと1年よろしく願います。
- ・ 若手レース委員の発掘について、引き続き願います。
- ・ 委員長任期も残り1年となった。後任委員長を第1回レース委員会で選出したいので、皆さんで検討をお願いします。